

OSS に関する特許係争・ライセンス事例

2010/12/1

日比谷パーク法律事務所

弁護士・弁理士 上山 浩

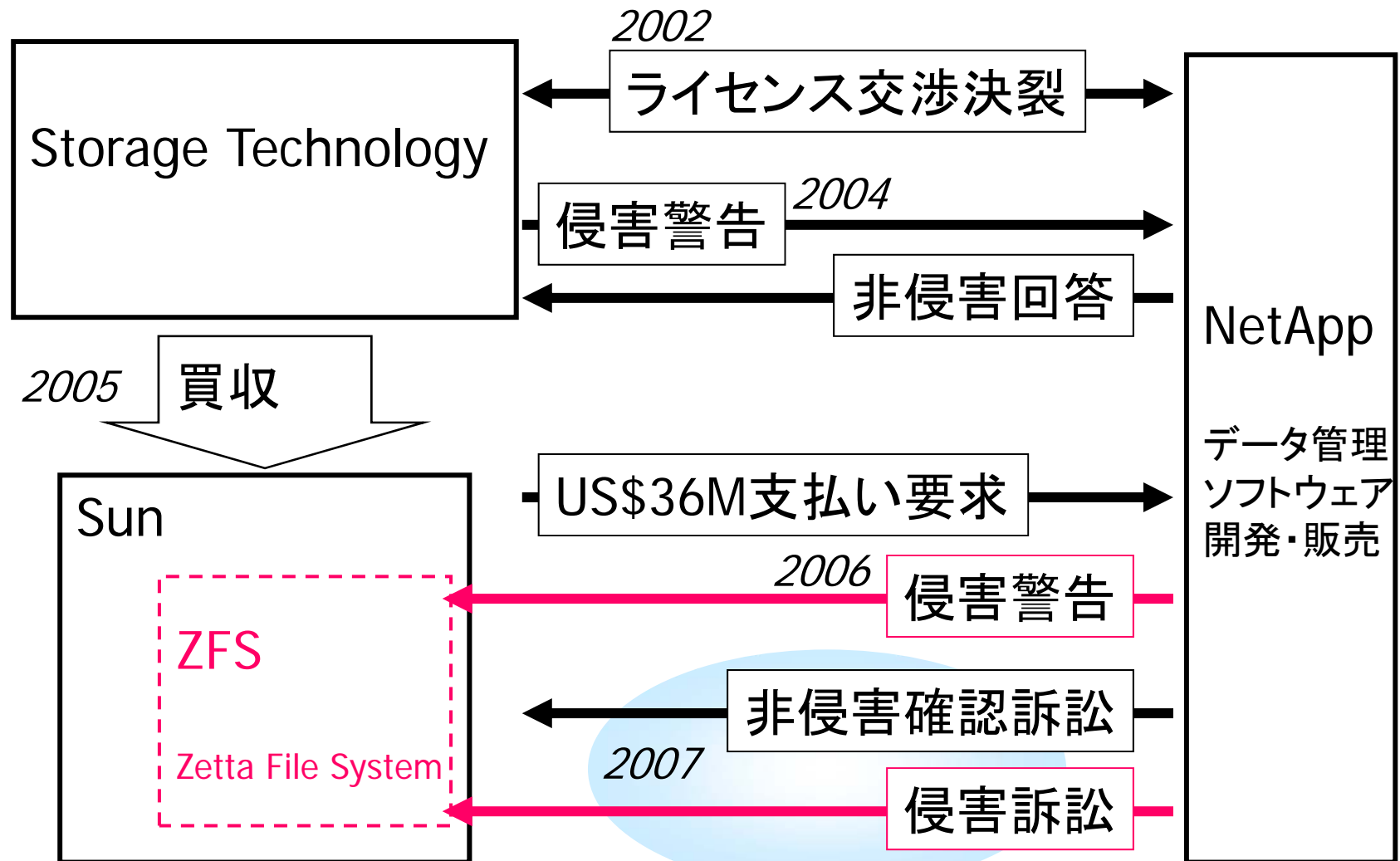
主な係争

From	To	権利主張者	相手方	種別	内容
1998	~	Fraunhofer	多数	他	MP3特許
2002	2006	Forgent	多数	訴訟	JPEG特許
2006	2008	FireStar他	Red Hat	訴訟	
2006		Microsoft	Novell	契約	Linux
2007	~	NetApp	Sun	訴訟	
2007	~	IP Innovation他	Red Hat他	訴訟	
2007	2008	Trend Micro	Barracuda	訴訟	
2009	2009	Microsoft	TomTom	訴訟	Linux
2009	~	Software Tree	Red Hat他	訴訟	
2009		Microsoft	メルコ他	契約	Linux
2010		Microsoft	HTC	契約	Android
2010		Microsoft	Motorola	訴訟	Android
2010		Oracle (Sun)	Google	訴訟	Android (Dalvik)

一般的な特許紛争

2007~	NetApp v Sun / ZFS
	N : USP5,403,639 他合計7件: ファイルシステムに関する技術 S : カウンタ USP5,124,987 他合計22件 S : NetAppの特許に対する無効情報をOSSコミュニティに募集 S : NetAppの特許5件に関し、無効判断が下される(2009) 2010 和解成立
2007-2008	Trend Micro v Barracuda / ClamAV
	T : USP5,623,600: IC回路の保護に関する技術 B : USP7,093,284 他合計3件: システム停止回復に関する技術 和解(クロスライセンス; 詳細不明)
	T は、McAfeeやSymantec等にも権利行使したが、 B 以外は早々に契約。 B のみが応じず訴訟になった。

(参考) NetApp v Sun/ZFS の経緯

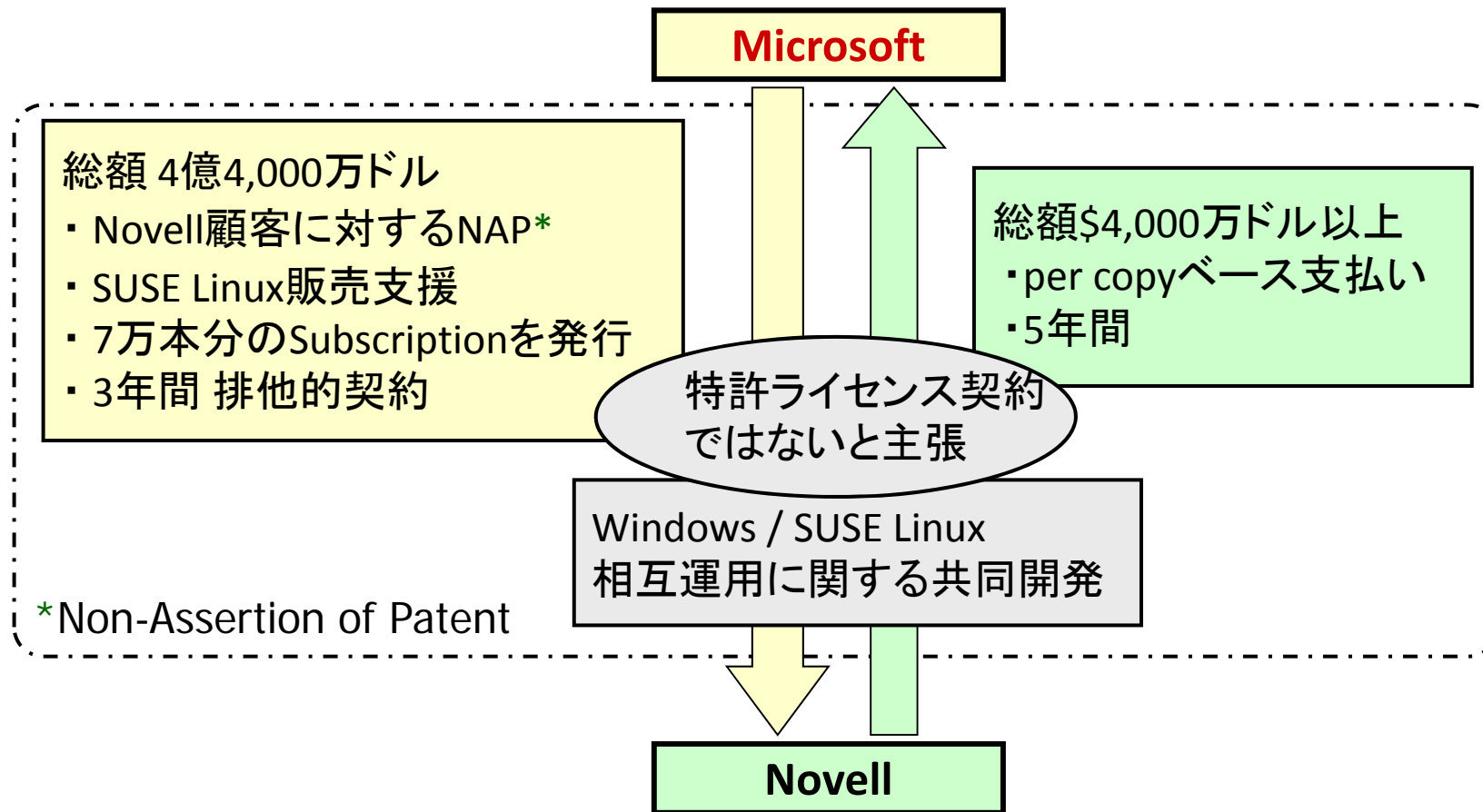


特許管理会社が関係している係争

2006-2008	FireStar他 v Red Hat / JBoss + HP, Genuitec, Dell
	FireStar: USP6,101,502: DBマッピングに関する技術 Sun: 無効資料を提出、再審査請求
2007~	IP Innovation 他 v Red Hat他 / ? + Novell
	IP-I: USP5,072,412他合計3件: マルチウィンドウに関する技術
2009~	Software Tree v Red Hat他 / Hibernate + HP, Genuitec, Dell
	Software Tree: USP6,163,776: DBマッピングに関する技術

- IP Innovation と Software Tree
 - 共に、Acacia Researchの子会社
- **JBoss** (商品名・コミュニティ名) と **Hibernate** (コンポーネント名)
 - ビジネス上は同一 (Java+DB 人気商品)

Microsoft - Novell 提携



OSSコミュニティ: 「実質的な特許ライセンス」であるとして反発した。
➤GPLは、「有償でライセンスを限定する特許ライセンス」を禁止している。

(参考) Microsoft 特許ライセンス年表

2003.12 特許ライセンス戦略発表
2005.4 東芝
2006.5 NEC
2006.11 ノベル *
2006.11 エプソン
2007.3 富士ゼロックス *
2007.4 サムスン
2007.5 (対Linux ; 235件)
2007.6 LG *
2007.9 ケンウッド
2007.10 オリンパス
2007.11 京セラミタ *
2008.1 日本ビクター

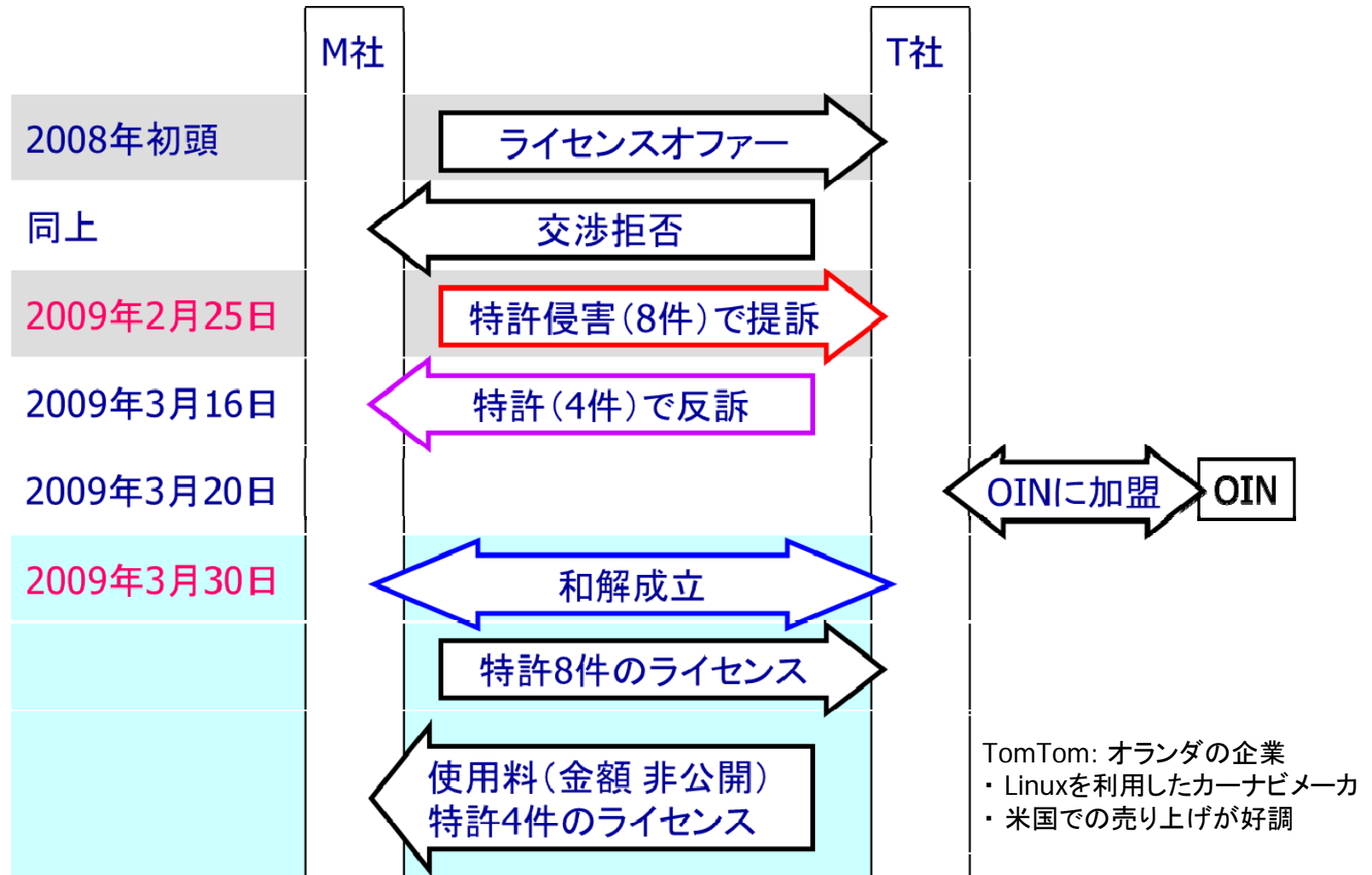
2008.2 アルパイン
2008.3 オンキヨー
2008.5 HOYA
2008.8 ニコン
2008.9 パイオニア
2009.2 ブラザー *
2009.2 TomTom(訴訟)
2009.3 Lexmark
2009.5 HP(契約更新)
2009.7 メルコ *
2010.4 HTC *
2010.4 (対Android)

* 契約で「Linux」に言及

出展: http://www.patentsalon.com/topics/ms_crosslicence/index.html

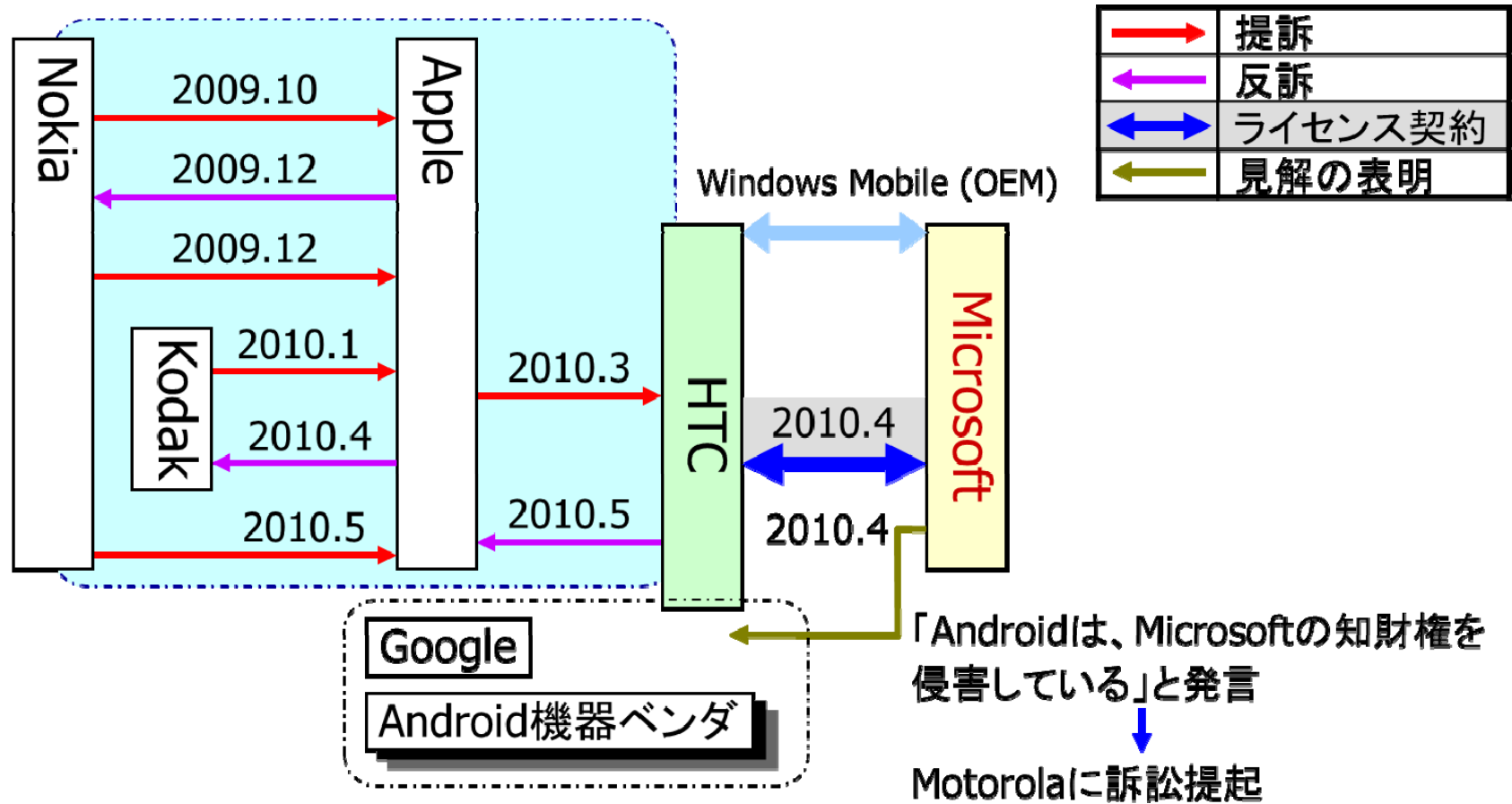
Microsoft v TomTom

Linux利用製品に対してMSが提起した最初の特許訴訟



Microsoft - HTC 特許ライセンス

- スマートフォンを巡るNokia、Apple、Android三者の訴訟合戦とMicrosoftの関係



考察：コミュニティ連携 等

- OSSは特許ガードが固い?
 - ◆ YES ; コミュニティ連携
 - ◆ リーガルサポート (OIN、SFLC、Linux Foundation)
 - ◆ 情報収集

- 防御-1 : Open Invention Network (OIN)
 - ◆ IBM, Red Hat, Philips, Novell, Sony, NEC
 - ◆ OSS向けパテントプール
 - ◆ 他陣営より先行して特許買収

- 防御-2 : OSSコミュニティと協働
 - ◆ 無効資料の収集等を公開で依頼
 - ◆ Open Invention Networkに加入した企業 :
Oracle, Google, Barracuda, TomTom

考察：全体傾向

■ ~~UN~~TOUCHABLE

かつては「OSS推進派 v 反対勢力」のような捉え方もあったが…

- ◆ 組込みLinux ⇐ Microsoft
- ◆ Jboss ⇐ 特許管理会社
- ◆ Android ⇐ Apple, Microsoft
- ◆ Android (VM) ⇐ Oracle (Sun)

■ オープンソースだから標的？

- ◆ ソフトウェア特許の行使は、一般には困難
なぜなら、オブジェクトコードからリバースエンジニアリング
などで機能を解析することは、現実的には不可能だから
- ◆ しかし、OSSはソースコードが公開されているため、侵害立
証が容易

考察：全体傾向

- 法的リスクの評価を経た意思決定の必要性

- ◆ IBM

「ソースコードとともに我が社が保有する重要なアセットを誤って、また、必要以上に手放すことがないよう、GPLなどが適用されたOSSを利用する際には、常にリスクと利益のバランスを考慮している。

また、OSSの利用許可を出す管理者のレベルに応じて、最大6ステップの承認プロセスを設定するなどし、厳重な承認体制を敷いている」

(IPA「OSSライセンスの比較および利用動向ならびに係争に関する調査」2010.5)

End